

第2回全世代・全員活躍まちづくりセンター運営評価委員会 議事概要

日 時	令和5年7月19日(水) 14:00～16:00
場 所	コンベンションホール
出 席 者	委員・事務局：別紙名簿＋生涯学習応援課片田、野村 アクティオ(株)：宮野・日置・石堂・吉田
欠 席 者	山口副委員長、兵藤委員、寺井委員
議 題	第2回全世代・全員活躍まちづくりセンター運営評価委員会
<p>1 開会</p> <p>2 議題 令和4年度まちづくりセンター開館準備業務 運営評価</p> <p>アクティオ(株)による令和4年度の開館準備業務内容の説明を基に、評価シートを用いながら、各項目について評価及び意見交換を行った。委員等からの意見・質問等は以下のとおり。</p> <p><u>各種庁内協議</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本設計はできているのか。 →令和5年2月末に完了している。今、詳細設計に入っている。 ● 基本設計が遅れているということだが、全体の工程は計画通りに進んでいるのか。 →基本設計はアクティオやNHAの原因ではなく、外部的要因で遅れが生じたが、全体のスケジュールは常に調整をし続けており、令和7年度の夏ごろの開館に向けて進んでいるところ。 ● 十分に取り組めているのではないか。 ● 舞台の奥行きが5mから6mに変更になったと説明があったが、1m伸びるだけでメリットがあるのか。 →6mでも十分ではないが、合唱や吹奏楽の利用を想定した時、できるだけ大きい方が望ましい。吹奏楽部の先生にもご意見をいただいている。 <p>森委員長</p> <p>本項は事務局案のとおり、「A」評価でよろしいか。吹奏楽部の先生に意見を伺うなど、将来のユーザーに対し直接意見を聞くことができている。これから利用する町民の立場に立って業務を進めることができている。 → 異議なし。</p> <p><u>町民への当施設の理解促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災拠点であるのになぜガラス張りなのか。真夏の避難所としての利用も考えられるが。 →非常用発電機を設置し、200人程度が3日間程度、空調の効いた部屋で過ごせるように想定されている。 →ガラス張りは通常の場合は、電気を全部つけなくても採光できるメリットがある。 <p>森委員長</p> <p>本項は事務局案のとおり、「A」評価でよろしいか。設計対話、運営対話を通じて参加者のまちづくりセンターに対する理解を深めることができている。次年度以降は、より多くの町民の理解促進が進むように取り組むように。 →異議なし。</p> <p><u>機運醸成と町民参加促進支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 企画運営委員会が中心となって「ミニくみ」の取り組みを進めている。この事業をきっかけに、将来的にまちづくりセンターに子どもたちが集まってくれることに期待する。 	

→単純に子どもを楽しませるのではなく、子どもを主役として育て、一緒に事業を進めていく点に興味深い。

森委員長

本項は事務局案のとおり、「B」評価でよろしいか。積極的にワークショップを実施しており、要求水準以上の実施内容であったが、基本設計の遅れというやむを得ない事情ではあるが見学会ができていないため。

→異議なし。

ブランディングと広報

- 親世代やPTAなどで集まってまちづくりセンターの話題はなかなか出ていない。SNSを活用して話題を発信してもらえると意見が出やすいと思う。

→SNSでファンを獲得できれば、情報はどんどん広まっていく。

- 施設名称がもう少しキャッチーなものであれば親しみやすく話題になると思う。
- 施設のロゴマークは小・中学生の夏休みの宿題として募集してみてもどうか。
- 駅にポスターを掲示されていたが、町民は駅のポスターを見る機会が少ない。ポスターを掲示するとしても、子どもが書いたポスターにする等、目にとまりやすい工夫が必要。
- 今の時代の広報は参加型である。発信者と参加者が同等である。様々なコミュニティ内で話題となっていくことが望ましい。
- すごく丁寧に進めようとしている印象である。細かい取り組みをせず、こけら落としの際、メディアに注目されるような話題性のある面白い企画を考えてみてはどうか。

森委員長

本項は事務局案のとおり、「B」評価でよろしいか。委員から出た意見を基に令和5年度以降取り組んでいただきたい。

→異議なし。

業務推進・自主事業推進

- 社会教育委員でアクティオ(株)が運営されている大阪狭山市の公民館の視察に行った。そこでは職員が地域のことに精通されていた。まちづくりセンターにも久御山のことをよく知っている職員を配置する必要があると思う。
- 久御山中学校で行っているの職業体験は非常に実り多い事業である。まちづくりセンターが開館後は受け入れの場所としていただきたい。

森委員長

本項は事務局案のとおり、「B」評価でよろしいか。引き続き人材育成に努めること。また、各種マニュアルの作成や人材確保に努めること。

→異議なし。

3 報告 令和5年度まちづくりセンター開館準備常務 業務計画

アクティオ(株)から令和5年のまちづくりセンター開館準備業務について説明。

- 建物の工事期間はいつ頃か。
→令和5年度末から令和7年度夏頃を予定している。
- 大阪万博の影響で建築単価が上がっている。建築費の高騰が心配。
- 利用料金を決定するには、建築コストや運営費などを勘案して決めるものだと思うが、令和5年度中に決めることができるのか。
→最終的な利用料金を決定するのは条例を制定するタイミング。令和5年度については近隣市町の類似施設と比較しながら、利用者にとって魅力ある価格設定を検討していきたいと考えている。

4 その他

次回の委員会は年度末に開催を予定

5 閉会